

北海道告示第11482号

地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の5第1項の規定により、一般競争入札に参加する者に必要な資格を定めた。

令和6年10月10日

北海道知事 鈴木 直道

1 資格及び調達をする役務等の種類

令和6年度において道が締結しようとする(1)に定める契約に係る一般競争入札に参加する者に必要な資格は、(2)に定めるものとし、当該契約により調達をする役務等の種類は、(3)に定めるものとする。

- (1) 契約 令和6年 月 日に一般競争入札の公告を行う知事公館構内除雪業務  
(2) 資格 除雪業務に関する資格（以下「資格」という。）  
(3) 役務等の種類 除雪業務

2 資格要件

次のいずれにも該当すること。

- (1) 地方自治法施行令第167条の4第1項各号に掲げる者（未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は含まれない。）でないこと。  
(2) 地方自治法施行令第167条の4第2項の規定により競争入札への参加を排除されている者でないこと。  
(3) 道が行う指名競争入札に関する指名を停止されていないこと。  
(4) 暴力団関係事業者等であることにより、道が行う競争入札への参加を除外されていないこと。  
(5) 暴力団関係事業者等でないこと。  
(6) 次に掲げる税を滞納している者でないこと。  
ア 道税（個人道民税及び地方消費税を除く。以下同じ。）  
イ 本店が所在する都府県の事業税（道税の納税義務がある場合を除く。）  
ウ 消費税及び地方消費税  
(7) 次に掲げる届出の義務を履行していない者でないこと（当該届出の義務がない場合を除く。）  
ア 健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出  
イ 厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出  
ウ 雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出  
(8) 令和6年10月1日現在において引き続き2年以上除雪業務を営んでいること。  
(9) 令和4年10月1日から令和6年9月30日までの間において、公共施設、道路又は大規模商業施設の除雪業務の実績を有していること。  
(10) 履行場所に1時間以内に到着できる営業拠点を有すること。  
(11) 次の除雪機械を確保できること。  
ア 除雪ドーザ （9トン（1.5m<sup>3</sup>）級以上） 1台  
イ ロータリー除雪機 （25PS以上） 1台  
ウ バックホウ （0.14m<sup>3</sup>級以上） 1台  
(12) 除雪機械の運転免許を有する者を含め、除雪作業員を4名以上配置できること。  
(13) 除雪業務について、損害保険会社と損害賠償保険契約を締結していること。

3 資格要件の特例

- (1) 中小企業等協同組合法（昭和24年法律第181号）、中小企業団体の組織に関する法律（昭和32年法律第185号）又は商店街振興組合法（昭和37年法律第141号）の規定に基づき設立された組合又はその連合会（以下「中小企業組合等」という。）が次のいずれかに該当するときは、2の(8)に

掲げる営業年数等の資格要件は、適用しない。

ア 経済産業局長が行う官公需適格組合の証明を有するとき。

イ 企業組合及び協業組合にあつては、設立の際に資格を有する者であるものが構成員の過半数を占めているとき。

(2) 中小企業組合等が経済産業局長が行う官公需適格組合の証明を有するときは、2の(12)に掲げる自己資本額、従業員数等の資格要件にあつては、当該組合と組合員（組合が指定する組合員）の値の合計値とすることができる。

(3) 中小企業組合等が経済産業局長が行う官公需適格組合の証明を有するときは、2の(9)に掲げる契約の履行経験等の資格要件にあつては、当該組合の組合員（組合が指定する組合員）が契約を締結し履行した経験等を含めることができる。

#### 4 資格審査の申請の時期、申請書類の入手方法及び申請の方法

##### (1) 申請の時期

資格審査の申請は、令和6年10月11日（金）から同月22日（火）まで（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日を除く。）の毎日午前8時45分から午後5時30分までの間にしなければならない。

##### (2) 申請書類の入手方法

資格に関する事務を担当する組織で交付する。

なお、北海道総務部イノベーション推進局財産課のホームページ（<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/gzs/114999.html>）においてダウンロードすることができる。

##### (3) 申請の方法

資格審査の申請は、資格に関する事務を担当する組織に、当該担当する組織の指示により作成した申請書類を提出することにより行わなければならない。

#### 5 資格審査の再申請

##### (1) 再申請の事由

次のいずれかに該当する者で引き続き資格を得ようとするものは、資格審査の再申請を行うことができる。

ア 資格を有する者の当該資格に係る事業又は営業を相続、合併又は譲渡により承継した者

イ 中小企業組合等（企業組合及び協業組合を除く。）である資格を有する者でその構成員（資格を有する者であるものに限る。）を変更したもの

ウ 企業組合又は協業組合である資格を有する者でその構成員を変更したもの

##### (2) 再申請の方法

再申請しようとする者は、資格に関する事務を担当する組織に、当該担当する組織の指示により作成した申請書類を提出しなければならない。

#### 6 資格の有効期間及び当該期間の更新手続

##### (1) 資格の有効期間

資格の有効期間は、資格を有すると認めた旨の通知があった日から1の(1)に定める契約に係る一般競争入札の落札決定の日までとする。

##### (2) 有効期間の更新

資格は1の(1)に定める契約に係るものであるため、有効期間の更新は、行わない。

#### 7 資格の喪失

資格を有する者が2に規定する資格要件に該当しないこととなったときは、資格を失う。

#### 8 資格に関する事務を担当する組織

(1) 名称 北海道総務部イノベーション推進局財産課庁舎保全係

(2) 所在地 郵便番号060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 北海道庁本庁舎5階

(3) 電話番号 011-204-5891